

御陵洛東園(仮称)開設に向けて

洛東園は設立以来東山区の地域に根差して運営してまいりましたが、この度、「地域福祉発展のために」というある方の善意により、山科区御陵の地で御陵洛東園(仮称)の建設計画を進めさせて頂いております。2020年度開設予定で、今後は山科区にも事業展開していくことになります。建設に関しましては広報誌面で進捗状況をお伝えできればと考えています。



職員紹介

このコーナーでは
洛東園で働く職員さんを紹介します。

「訪問介護」作本 弥生(さくもと やよい)さん

Q. 入職されて何年になりますか？

ヘルパーとして17年目になりました。
17年はあっという間で、今もとても楽しく仕事をさせて頂いています。



Q. 続けていて良かったこと、又は、印象に残っていることは、どんなことですか？

人生の先輩である利用者さんが、かけてくださる言葉や体験談はとても勉強になりますし、自分が悩んだ時に思い出して元気になります。時には人生に対してのアドバイスをくださり、とても感謝しています。

Q. 仕事をする上で、大切にしている思いはどんなことですか？

この仕事をする前、小さいころから可愛がってくれた祖父が病気になった時、私は病気の祖父とどう接したら良いかわからず上手く話すことができませんでした。気負わずそれまで通りに思いやりを持って話せば良かったと今はわかります。利用者さんと接するときはその時の気持ちを忘れないように心掛けています。

記：小泉

洛東園では見学、実習やボランティア等、
随時受け付けております。
お気軽にお問い合わせください。

寄贈 要建設株式会社／京都日吉ヶ丘ライオンズクラブ

寄付 本家ハッ橋西尾株式会社 皆様、誠にありがとうございます

洛東園だより

平成31年4月発行／社会福祉法人 洛東園
発行責任者／西村 英亮

〒605-0981 東山区本町15丁目794
電話番号(大代表)561-1171 FAX 531-8372
ホームページアドレス
http://www.wf-rakutouen.com/

※記載中の写真はフリー配布素材と弊社で撮影した写真を使用し、
撮影したものは全てご本人の了解を得て掲載しております。

編集にあたって

平成最後となる「洛東園だより」を発刊させて頂き、こうしてお届けできることを大変嬉しく思います。洛東園では4月1日より新卒者2名が入職し、特別養護老人ホームと修道洛東園に配属されました。合わせて約200名の職員で新年度をスタートしています。本年度も各部署の活動や利用者さんのイキイキされた様子を本誌でご報告させて頂きます。

記：吉田

洛東園 だより

2019.4



目次

春のご挨拶 洛東園 園長 西村 英亮 1頁

洛東園「平成」の歴史 2頁

事業計画、取組目標 3頁～4頁

短時間デイサービスのご紹介 5頁

活動だより 6頁

御陵洛東園について、職員紹介、他 巻末

洛東園の理念

- 個性・自主性を尊重し、明るく温もりのある生活
- 安全と快適な暮らし
- 地域に根ざした開かれた施設

春のご挨拶

社会福祉法人洛東園 園長 西村 英亮

陽春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度はいよいよ（仮称）特別養護老人ホーム御陵洛東園・養護老人ホーム御陵洛東園の新築工事が開始となります。

山科区陵ヶ岡学区との良好な関係づくりを推進し、建設工事が順調に行われるよう関係機関との連携のもと、工事進捗状況を確認して開設に向けた準備をすすめてまいります。

今後さらなる少子高齢化の進行等により労働力人口が減少し、全産業的に労働力の確保が困難な状況となる中で、質の高い福祉・介護人材を安定的に確保していくことは喫緊の課題であります。

消費税増税にともない、10月に実施される介護職員処遇改善加算等の国の施策に加えて、法人独自の福利厚生充実、働きやすい職場環境づくりを一層推進していく必要があります。

また、本年4月の労働法制改正を踏まえて、職員が仕事と生活を両立できるよう、労働時間及び年次有給休暇の管理など法令の改正事項を遵守し、長時間労働などによる過度な労働負担が生じない運営体制を構築いたします。

今後も引き続き、社会福祉法人として安定した事業運営を行い、様々な福祉サービスを展開して地域社会に貢献してまいりますので、今年度も皆様のご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

本誌に平成31年度社会福祉法人洛東園運営・事業方針および取り組み目標を掲載させて頂いております。
またご意見葉書を同封させて頂いておりますので、ご意見等頂ければ幸いに存じます。

洛東園平成の歴史

洛東園の歴史を振り返りご紹介させて頂くコーナーです。

平成12年介護保険制度が施行、平成18年には地域包括支援センターが立ち上げられる等、平成時代に高齢福祉制度が大きく変動したことは、皆様ご存じの通りです。
ここに洛東園の平成を振り返ってみました。

- | | |
|------------|--|
| 平成 元年 12月 | 特別養護老人ホーム洛東園事業開始（長期50床 ショートスティ4床） |
| 平成 2年 4月 | デイサービスセンター事業開始 |
| 平成 3年 4月 | 訪問入浴事業開始 |
| 6月 | 配食サービス事業開始 |
| 8月 | 養護老人ホーム90床に定員変更 |
| 平成 4年 4月 | 京都市より委託を受けて「京都市在宅介護支援センター洛東園」事業開始 |
| 平成 9年 10月 | ホームヘルプ事業開始 |
| 平成 12年 4月 | 介護保険法施行 養護老人ホーム運営事業以外は介護保険事業に移行となる |
| 平成 14年 | 洛東園設立50周年 記念行事と50周年誌の発行 |
| 平成 16年 4月 | デイサービス棟新築移転（デイサービス、地域交流センター、在宅介護支援センター・居宅介護支援事業） |
| 平成 18年 4月 | 京都市洛東地域包括支援センター事業開始
地域密着型サービス 認知症対応型通所介護事業開始（定員15名）
京都市東山区地域介護予防推進センター事業開始 |
| 平成 20年 1月 | 地域密着型サービス 小規模多機能サービスもみじの家事業開始 |
| 平成 23年 4月 | 特別養護老人ホーム修道洛東園事業開始（長期63床 ショートステイ9床） |
| 平成 24年 10月 | 洛東園設立60周年 60周年テーマ『築 夢～これまでも、これからも～』 |
| 平成 26年 4月 | 洛東園研修センター事業開始 |
| 7月 | 京都市東山区地域介護予防推進センター五条拠点開設 |
| 平成 29年 4月 | 短時間デイサービス事業開始 京都市高齢者すまい・生活支援事業開始 |
| 2020年度 | 特別養護老人ホーム・養護老人ホーム御陵洛東園開設予定（居宅介護支援事業 訪問介護事業併設） |



これからも地域社会貢献に邁進いたします！

記：小窪、新宮

事業計画・取組目標

法人理念	1. 個性、自主性を尊重し、明るい温もりのある生活	2. 安全と快適な暮らし	3. 地域に根ざした開かれた施設
方針	職員個々が保健医療分野も含み自らの成長と研鑽に励み、法人運営の安定及び介護サービスの成長を目指す		

事業計画	法人目標	1. 組織経営のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化（社会福祉充実残額、社会福祉充実計画の作成等）、定期監査の実施によるコンプライアンス（法令遵守）の徹底	2. 社会福祉法人としての地域ニーズの把握と社会貢献、公益的な活動、生活困窮者に対する積極的支援の継続（京都市高齢者すまい・生活支援事業、配食サービス等）
		3. 虐待予防と早期発見、早期対応への取り組み	5. 介護福祉人材の定着（離職率低下）と育成
		4. 近隣府県の養成施設等へのアプローチなど採用体制の更なる強化による良い人材の採用、海外人材の活用	6. 労働環境整備による長時間労働防止、時間外労働縮減に向けた取り組みの実施、年次有給休暇取得促進
			7. 福祉避難所としての体制強化
			8. 腰痛予防、労働災害・通勤災害・交通事故防止
	事業計画	1. （仮称）特別養護老人ホーム御陵洛東園・養護老人ホーム御陵洛東園の新築工事の推進	
		2. 経営会議による安定的な経営基盤の強化（経費削減、介護報酬・診療報酬改定に対しての情報収集と対応）	6. 特別養護老人ホーム洛東園（多床室）のプライバシーに配慮した居住環境整備 小規模多機能サービス
		3. 管理部・各部署管理職による自主点検表等、法令遵守に基づく事業運営の徹底と管理職会議による毎週の運営状況報告、各種会議・委員会の意見集約及び活用、マニュアルの更新・管理	もみじの家の移転、訪問看護事業等の新規事業開設の検討
		4. 福祉人材育成認証制度の上位認証取得を目標とした四半期毎のPDCAサイクルによる会議、委員会運営の徹底	7. 福祉避難所設置訓練の継続実施（年1回）
		5. 質の高い介護を提供する人材育成を目標とした介護福祉士実務者養成施設設置計画の推進	8. 利用者等ニーズ調査の実施
			9. 法人季刊誌発行・ホームページ等による広報
全事業所共通目標		各事業所取組目標	
・社会福祉法人としての地域貢献	養護老人ホーム	1. 環境整備：老朽化による設備、備品各加算申請	のメンテナンスと生活環境改善 / 介護機器導入による介護環境の改善
・地域における公益的な取り組みの推進		3. 利用者・家族への場環境づくり他施設との交流を図り、	働きかけ：利用者懇談会の開催
・法令遵守の徹底 運営規定の遵守			4. 人材確保・育成と質の高いサービスの実現：中堅職員の育成、一貫した新人現任制 業務改善による働きやすい職場環境
・経営安定への努力 経費節減	特別養護老人ホーム 洛東園	1. 個別ケアに向けた取り組み：多職種	協働・連携による認知症ケア・医療的ケア・看取りケアの充実 / 介護機器・福祉用具を活用した介護の実践 / プライバシーに配慮した住環境の改善
・業務改善、変形労働時間制の活用等による時間外労働の徹底縮減		2. 家族への働きかけ：家族交流会 /	密な連絡による家族との関係構築
・防災への取り組みの推進		4. ショートステイの受け入れ：定期利	3. 利用定数の確保：空床利用の積極的活用 / 医療連携・介護技術向上による入院者の減少 / 緊急措置入所の受け入れ
・介護事故予防、減少に向けた取り組み	特別養護老人ホーム 修道洛東園	6. 職員の資質向上：現任教育による指	用者の確保（毎月請求実績 20 件以上）
・感染症対策の周知徹底		1. 利用者の満足度を高める：利用者が	5. 地域活動・実習生の受け入れ：地域行事への積極的な参加 / 実習生等の積極的受け入れと養成校との連携
・身体拘束の廃止		高める：職員の定着を図り、安定した人	導者、新人職員、職員の資質向上 / ケア能力評価による人材育成 / ケア実践についての振り返りの実施と定期的な自己評価
・多職種協働による褥瘡予防	デイサービスセンター ・日常生活支援総合事業 ・一般型通所介護・配食サービス	3. 職員の満足度を高める：より細や	忌憚なく思いや要望等を話せる機会を増やす 本人、家族の希望に応じた行事の開催、新たな楽しみや外出、レクリエーションの機会を増やす
・職員腰痛予防		4. 地域住民が信頼できる、安心できる	2. 家族の満足度を
・介護技術の習得、向上		1. 行事・レクリエーション・地域活動	的な環境づくりに努める 看取り期の本人、家族の心身を支え、思いに寄り添いながら穏やかに終末期を迎えられるよう支援する
・資格取得への努力	認知症対応型通所介護	3. ムの実践	かな個々の力量に合わせた研修体制の構築 福祉用具、ICT 機器等の活用による腰痛予防、業務負担の軽減 施設内外での交流 研修への参加促進
・各種研修会への参加（内外）		5. 配食サービスの実	施設を目指す：地域住民との交流や地域行事への参加、協力に継続して積極的に取り組む 福祉避難所としての役割を果たす 地域課題への協力、地域貢献
・ケアプランの理解実践		1. 行事・レクリエーション・地域活動	等の充実 関係機関との連携を強化し利用者の生活環境の改善に取り組む 利用者の意欲向上につながる地域活動等の企画・実践
・医療的ケア研修への参加	短時間型デイサービス	くことのできる職場環境の整備	2. 心身共に健康な状態で働
・セクシャルハラスメント防止		3. ことのできる職場環境の整備	コスト意識を持ち５Ｓ活動を継続し、安定した運営に努める
・パワーハラスメント防止		1. 生活機能の維持向上のため、利用者	4. 機能訓練と筋力維持向上の目的を理解し、個々のレベルとニーズに応じた充実したプログラ
	ホームヘルプサービス	1. 職員の資質向上：個々の研修計画目	施による見守り体制の確保による地域貢献
		3. 地域や他職種との連携強化	等の充実 関係機関との連携を強化し利用者の生活環境の改善に取り組む 利用者の意欲向上につながる地域活動等の企画・実践
			2. 心身共に健康な状態で働
	給食部	1. 全体：安定した食事の提供（味付け、盛り	コスト意識を持ち５Ｓ活動を継続し、安定した運営に努める
		充実 / 介護予防を視野に入れた利用者の栄養	4. 運営推進会議・家屋交流会を開催し利用者と家族が地域で安心して暮らすことができるよう支援する
		トの実施 / 利用者の食事意欲向上へつながる	の生活に着目した情報収集を強化しプログラムの充実を図る
	洛東園診療所	提供と定期化	1. 職員の健康管理：インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症対策の徹底 交通事故防止
		5. 栄養課及び職員の資質向上	
		1. 利用者の意思決定を支援し、利用者	1. 全体：安定した食事の提供（味付け、盛り
	居宅介護支援事業所洛東園	向上と看護職員の定着を図る	付け、適温、献立内容）と演出 嚥下食及び機能維持のための取り組み / 災害等、非常時における給食提供時の備蓄食材の確保とガイドラインの確認
		4. 地	2. 看護：料理教室の継続及び内容の
		6. 具体的取り組み：安全で質の高い看	状態の保持・向上を促す取り組み / 嗜好調査結果の反映
	地域包括支援センター	1. 運営基準の遵守	3. 特養：加算制度の内容充実化 / 利用者の栄養状態及びADL の維持を目的とした生活全般を見据えた栄養ケアマネジメン
		2. ケアマネジネ	取り組みの実施
		との連携強化 市老協居宅部会等を通じた情	4. 在宅：嗜好調査の継続及び調査結果の反映 / 利用者の栄養状態の保持と向上及び健康管理の実施 / 行事・レクリエーションを通しての作る・食べる楽しみの
	地域介護予防推進センター	1. 地域での支援ネットワークの強化：	6. 衛生管理：委託業者による衛生（厨房・食品）及び感染症予防についての管理と迅速な対応
		の機能の充実及び運営の質の維持・向上	中心の看護を提供する
		早期発見・早期対応 / 認知症の初期段	2. 継続学習を推進し、可能な限り高い水準の看護、安全で安心な看護を提供する
	小規模多機能サービス もみじの家	り / 単身高齢者全戸訪問事業の実施 / 地	3. 教育体制の充実を図り、看護水準の維持・
		1. 介護予防普及啓発事業：可能な限り	5. 法人の運営に積極的に参画する
		域性をふまえた普及啓発 相談会・講座・	護の提供 / 人材育成と自己啓発・研鑽の推進 / 業務改善と活気ある職場づくり / 看護実践力の開花 / 法人経営への積極的な参画
	洛東園研修センター	できることを支援する 自主活動ブルー	1. 地域での支援ネットワークの強化：
		介護予防を主体的に推進できる人材であ	の機能の充実及び運営の質の維持・向上
		1. 働きやすい職場作りと職員体制の安	早期発見・早期対応 / 認知症の初期段
	京都市高齢者すまい ・生活支援事業	対策	り / 単身高齢者全戸訪問事業の実施 / 地
		5. 利用者の確保活動に努め、登	1. 介護予防普及啓発事業：可能な限り
		1. 介護職員等喀痰吸引等研修の実施	域性をふまえた普及啓発 相談会・講座・
		導看護師養成研修 及びフォローアップ	できることを支援する 自主活動ブルー
		1. 地域における公益的な取り組みの推	介護予防を主体的に推進できる人材であ
		3. 生活相談、緊急時の対応	1. 働きやすい職場作りと職員体制の安

短時間通所介護 (デイサービス)のご紹介



こちらのコーナーでは介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービスの一つ「短時間型」を紹介します。

短時間通所介護（デイサービス）について

短時間（3時間未満）で必要な日常生活上の支援及び機能訓練、入浴などのサービスを受けることができます。また、身体を動かすことや、交流の場を提供することで、気分のリフレッシュを図ることができます。

サービスの内容

- 利用できる方** 地域のお住まいの65歳以上の方で要支援認定を受けた方、及びチェックリスト対象の方。
- 利用回数** 週1～2回程度
- サービス提供時間** 午前の部 9時前後～12時前後
午後の部 13時前後～15時前後
※3時間未満の利用となります。
- 提供サービス** 機能訓練・入浴・送迎等
- 昼食** 提供なし
※午前の部の方は、昼食の持ち帰りが可能です。



ご利用のスケジュール

送迎車にてお迎え

- 健康チェック
(検温・血圧測定等)
- 入浴・整容
- 機能訓練
- 個別プログラム
(脳トレ・体操・交流活動等)

送迎車にてお送り



▶入浴・整容

入浴を終え、髪を整えます



▶機能訓練

機能訓練は身体に軽く負荷を掛け筋力の向上を図れるチューブ体操を中心に実施しています。その他、個別のご要望もご相談下さい。



▶個別プログラム

脳トレにも取り組まれます

あるご利用者さんからは「お友達ができたり、旧友と再会できたりして楽しいです。体力の向上もできますよ。」とのお言葉を頂いています。

記：奥野

活動だより



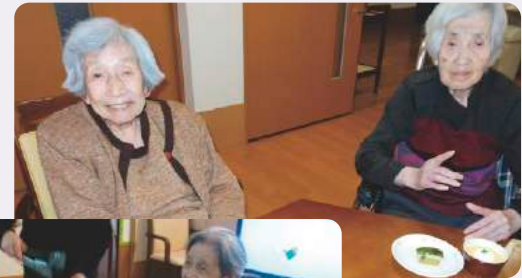
こちらのコーナーでは各部署の外出や施設内での楽しみなどを紹介します。



No.01 修道洛東園より おやつバイキングをしました！

管理栄養士企画で「おやつバイキング」が行われました。

6種類のおやつを乗せたワゴンで各フロアを回り、1人2個ずつ選んで召し上がっていただきます。ワゴンに並んでいるおやつを見て「美味しそう。」「そんなに選んでいいの。」等と言いながら、嬉しそうに選ばれていました。食べた後は「美味しかった。」「またしてな。」「まだ食べたい。」と話される方が多く、好評でした！！



No.02 特別養護老人ホームより お楽しみ！外出レクリエーションに行ってきました！



特養の利用者さんとイオンモールに行きました！

まずは腹ごしらえ！以前から食べたいと仰られていた回転寿司へ。「どれがいいかなあ」「これもおいしそう」と流れてくるお寿司を迷いながら品定めされ、(パクリ!...)「ホタテが美味しかった。」と笑顔で話されていました。その後は「ちょうど欲しいものがあったんや。」と、洋服を2着、食料品と日用品を購入されました。帰り間際にはバナナジュースを飲まれ「また行こうなあ。」と、楽しい一日が終わりました♪

利用者さんのお喜びの声は新しい企画を考える原動力になりますね！これからも利用者さんにご家族、そして職員と一緒に笑顔になれる活動を行っていきます。

記：福井、清水